

授業科目 ケアマネジメント論

【担当教員名】 佐藤 正枝	対象学年	4	対象学科	社会
	開講時期	前期	必修選択	選択
	単位数	2	時間数	30

【カリキュラムポリシーとの関連性】				
知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	◎	○	◎

【概要・一般目標：GI0】
 複数の多様なニーズを抱える利用者を、より効果的に支援していくためのケアマネジメントの理解と実践の概要を学ぶ。

【学習目標・行動目標：SB0】

- 1 国内外のケアマネジメントの歴史と理論について、知識を深め理解する。
- 2 利用者の抱える生活ニーズの捉え方（アセスメント）について、演習を通し個別性、多様性の観点から理解する。
- 3 ケアマネジメントとエンパワメントについて、人権と人格の尊重の観点から理解する。
- 4 社会資源の現状と課題について演習を通し考え理解を深める。
- 5 介護保険を始めとする各種制度と、ケアマネジャーの現状と課題について知識を深め理解する。

回数	授業計画・学習の主題	SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	講義計画の説明およびケアマネジメントの社会福祉援助技術論における位置付けの理解		講義
2	ケアマネジメントの定義と歴史（外国の流れ）		講義
3	〃（日本の流れ ケアマネジメントの担い手とあり方の変化）		講義
4	ケアマネジメントの理念（エンパワメントに視点をおいて）		講義
5	ケアマネジメントの機能（事例を織り交ぜながら）		講義
6	ケアマネジメントの過程（インテークからアセスメント）		講義、演習
7	ケアマネジメントの過程（プランニングとチームケア）		講義、演習
8	ケアマネジメントの過程（モニタリングと終結）		講義、演習
9	わが国の介護保険制度とケアマネジメントのあり方（その矛盾と発展の形）		講義
10	ストレングスモデルアプローチ（自己評価）		講義、演習
11	ストレングスモデルアプローチ（契約における障がい）		講義、演習
12	ストレングスモデルアプローチ（アセスメントおよびプランニング）		講義、演習
13	ストレングスモデルアプローチ（社会資源の開発）		講義、演習
14	ストレングスモデルアプローチ（まとめ）		講義
15	高齢者虐待予防とケアマネジメントの役割		講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	特に指定しない			
参考書	ケアマネジメント概論	白澤政和 他	中央法規出版	2000・3,000円
	社会福祉の思想と方法	青山良子、池内 明、佐藤 正枝 他	考古堂出版	2010・1,600円＋税
	高齢者・ストレングスモデル・ケアマネジメント	ベッキー・ファースト、ローズマリー・チャビン、青木信雄 訳 他	筒井書房	2005・1,800円
その他の資料	講義中にプリントを配布する			

【評価方法】 学習目標・行動目標（SB0）記載の2,4については、演習を交えて習得を予定しており、出席、レポート試験とあわせて総合的に評価する	【履修上の留意点】
--	-----------